

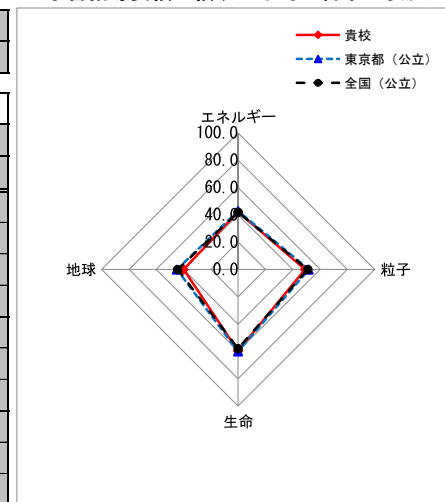
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		江戸川区立松江第三中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		116	70,870	892,585

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体			48	51	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	42.2	42.8	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	49.0	51.8	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	59.7	60.1	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	39.9	44.9	44.3
評価の観点	知識・技能	7	44.7	46.9	46.1
	思考・判断・表現	14	50.0	52.3	51.0
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	15	47.6	50.6	49.6
	短答式	1	23.3	25.3	24.8
	記述式	5	55.0	55.3	53.5

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



現状把握（調査問題から見た課題）
 ★…課題
 ○全体（全国との比較）
 - 5.4%★
 ○学習指導要領の領域（全国との比較）
 「エネルギー」を柱とする領域 +0.3%
 「粒子」を柱とする領域 -1.9%★
 「生命」を柱とする領域 +1.8%
 「地球」を柱とする領域 -4.4%★
 ○評価の観点（全国との比較）
 知識・技能 -1.4%★
 思考・判断・表現 -1.0%★
 ○問題形式（全国との比較）
 選択式 -2.0%★
 短答式 -1.5%★
 記述式 +1.5%

指導改善のポイント
 ○理科では、反復学習による、基礎基本・既習事項の定着を図る。自己の考察を振り返る機会を設け、体系的な学習の定着に努める。
 ○実験や観察を行い、実験の計画や操作などの妥当性について検討して改善する力を、引き続き伸ばしていく。
 ○「知識・技能」の基礎を確実に習得できる授業を目指し、実験・観察の目的を明確にし、実際に操作を行わせる中で技能を身に付けさせていく。
 ○生徒にとって受け身の授業とせず、生徒自身が自ら考え自然現象を理解することを求め、そしてその意見を友達と互いに共有し、さらに友達の意見を踏まえてもう一度自分自身で考えという流れを授業に取り入れることで、深い学びに繋がれるようにする。
 ○基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力に基づく問題を解決する能力を確実に身に付けさせるため、「授業のねらい」を明確にし、生徒が授業中に理解できるように、指導方法を組み立てていくことを目指す。